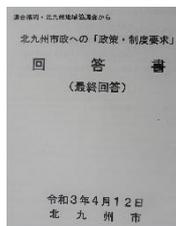




連合福岡北九州地協「2021～2022年度政策・制度要求」 10月19日に北橋市長に提出！



北橋市長と下園副議長



北九州市教組は、連合北九州地協に執行委員長が副議長として組織参加をしています。連合は、2年に1回市長に対して「政策・制度要求書」を連合参加単産組織の意見を集約して提出しています。そして、1年後に中間回答、2年後に最終回答を受け、政策・制度の実現を図ってきました。2021年4月に「2019～2020年度政策・制度要求」最終回答を受け、33項目中31項目実施済み、2項目は検討中との回答を受け、10月19日に今後2年間の「政策・制度要求書」を北橋市長に提出しました。



当日は北九州市側から北橋市長、小石雇用・生産性改革推進部長、小田雇用政策課長が、連合北九州からは議長代行、副議長、事務局長、事務局次長が参加しました。

【2021～2022年度政策・制度要求(関係骨子・抜粋)】

<教育>

(1)学校における働き方改革

教職員の長時間労働是正に向けて、「学校における業務改善プログラム(第2版)」の進捗状況を検証し、業務削減を進めるよう求める。

(2)SC・SSW、サポートスタッフの配置

新型コロナウイルス感染症に関わる子どもたちやその家族への差別や偏見の解消、心身のケアは喫緊の問題であることから、SC・SSWの配置や学校サポートスタッフを児童生徒数に応じた人数を確実に配置するよう求める。

(3)教育格差の是正

現在、学校現場では、いじめや教職員不足といった従来の問題に加えて、教育に係る費用の増加や、地域や所得の差による教育格差などが新たな問題として顕在化している。地域間格差や家庭の経済格差が教育の格差を生まない教育の機会均等と教育にかかる費用負担の軽減を求める。

<平和>

(1)平和教育の継承について

基本計画に基づき、「平和のまちミュージアム」に未来を担う多くの子どもたちが来館し、平和の大切さが次世代に脈々と受け継がれるような資料館を求める。

このように、北九州市教組は市内に働く労働者の仲間と共に、連合の枠の中でも要求行動を行っています。連合では、ハートフル市議団とも連携を取り、議会の対応も行っています。

市教組は現在、「確定期に向けた要求書」を柱に、任命権者である教育委員会との交渉を積み上げているところです。10月26日に当局より「大綱」が提示され、それを受けさらに交渉を重ねています。経過や結果はJTU ほっきゅうで報告します。

わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！



///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1

E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL(093)953-0381

